(2)春播小麦優良品種候補「北見春47号」について

道立北見農業試験場　小麦科

1.はじめに

輪作維持の面から必要性の大きい強稈・多収性の春播小麦を開発するため、昭和47年に「Siete　Cerros×Pa11」の$F_1$1を母、「Tob-8156(R)×ハルヒカリ」の$F_1$1を父として交配した雑種後代から選抜し育成したものである。

2.特性の概要

本系統は、メキシコ小麦の持つ短稈、長穂等の半矮性因子を導入した初めての実用系統である。現在、本道唯一つの春播小麦「ハルヒカリ」より稈長は20cm以上短く、しかも、茎はやや太く強稈であるため、これまでの春播小麦のイメージを一変させる耐倒伏性を有する。ドリル播、多肥による増収効果も高く、農家にとって作り易い。「ハルヒカリ」の収量が、対秋播小麦比[1)]55%程度と低収であるのに対し、本系統を用いたドリル播、多肥では、これをほぼ90%程度に高めることができる。

また、赤銹病、うどんこ病に対する抵抗性は強いが、「ハルヒカリ」より赤かび病の抵抗性および耐穂発芽性についてはやや劣る。

「ハルヒカリ」と比較して原麦粒の見かけの品質は同程度に良好で、製粉性は高く、粉色も同等かやや優れる。二次加工適性は、パン適性では硬質小麦の「ハルヒカリ」より劣るが、めん適性では、「ハルヒカリ」よりは明らかに優り、とくに「滑らかさ」や「粘弾性」[2)]などについては、秋播品種「ホロシリコムギ」よりも優れ、「チホクコムギ」に次ぐものである。

3.普及態度

ほぼ全道的に適応すると見られるため、輪作上、春播小麦の栽培を必要とする場合に適用し、輪作維持や秋播小麦の適作緩和など、畑作安定化を図ることができる。　しかし、土壌乾燥期にあたる春播品種の播種は早期播種が大前提であり、砕土性など物理性の不良な土壌ではとくに早期播種に努める必要がある。また、適期収穫や赤かび病の発生が予想される場合の防除など基本技術の励行が肝要である。

表1.北見春47号の育成地における特性概要[3)]

系統名または品種名	成熟期月日	稈長cm	収量**		リットル重g	千粒重g	外見品質	検査等級	赤銹病抵抗性	うどんこ病抵抗性	赤かび病抵抗性	穂発芽性	耐倒伏性
			子実重kg/10a	同比%									
北見春47号	8.17	84	424	130	777	34.5	上下	2中	強	強	中	中	強
ハルヒカリ	8.14	105	327	100	759	33.3	上下	2中	やや強	やや強	中	やや強	中

系統名または品種名	製粉歩留*%	ミリングスコアー*	BM率*%	60%粉					めん試験					
									昭和57．58年度平均			昭和59年度		
				灰分%	蛋白%	フアリノVV*	アミロMV*Bu	小麦の色*	茹麺の色10	粘弾性35	総　点100	茹麺の色30	粘弾性20	総　点100
北見春47号	76.9	80.4	40.3	0.57	12.8	56	333	3.92	7.3	33.5	84.3	24.3	17.0	80.8
ハルヒカリ	76.0	75.4	37.6	0.65	12.9	52	296	4.38	7.3	32.0	79.8	17.0	15.0	68.5
ホロシリコムギ	72.9	79.9	45.0	0.53	10.2	46	545	3.80	6.0	21.0	60.0	21.0	14.0	70.0
チホクコムギ	71.8	80.3	58.9	0.50	9.0	38	553	3.27	6.0	34.0	84.8	25.7	19.7	89.4

表2.北見春47号のパン試験・めん試験(委託試験)

系統名または品種名	パン試験	めん試験								
	日清製粉株式会社	道産小麦研究会(昭和59年度)								
		北見農試産			中央農試産			美唄産		
	パン総点100	茹麺の色　5	粘弾性5	総　点25	茹麺の色　5	粘弾性5	総　点25	茹麺の色　5	粘弾性5	総　点25
北見春47号	55.3	2.5	3.5	14.6	2.3	3.7	14.3	2.7	3.9	15.5
ハルヒカリ	64.0	2.4	3.4	14.3	2.4	3.4	14.1	2.6	3.6	14.9
ホロシリコムギ		3.0	3.0	15.0						
チホクコムギ		3.3	4.5	18.6						

**収量(子実重)：「ハルヒカリ」の子実重327kgは農業試験場で倒伏したものを手刈して得られたが、一般農家の栽培では倒伏のため200kg程度である。
*製粉歩留：粉のとれた割合。
*ミリングスコア：灰分を考慮した粉の量で、総合的な製粉性を代表する数値。高い方が良い。
*BM率：荒びき粉の量と細びき粉の量の割合。高いほど軟質性。
*ファリノグラムVV：一定の硬さにねったときの生地の物理性をみるもので、高い方がパンに適する。
*アミロMV：アミログラフによるデンプンの最高粘度で、高い方が健全である。
*小麦粉の色：低いほど白度が高い。

---

1)秋播小麦：「ホロシリコムギ」の収量の標準は482kg、多肥は561kg/10a。
2)粘弾性：「モチモチ性」とも表現され、ソフトな感じと適度な歯応えを合わせ持った性質を言う。
3)特性概要：表の項目中、ドリル播倍肥の収量は57～59年の平均値。品質検定試験は53～59年のうち55、58年を除く平均値。パン試験は53～58年のうち55年を除く平均値。めん試験およびパン試験の項目の下段の数字は配点を示す。

目次へ戻る